

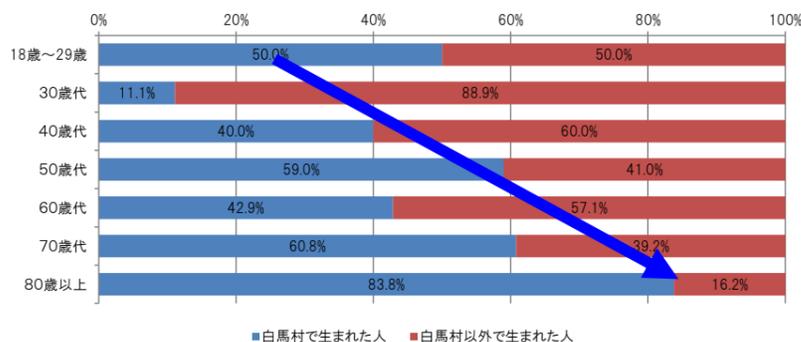
アンケート調査結果（クロス集計）概要 1

①クロス集計項目

クロス集計項目は、特に特徴が出ると考えられる以下の項目について実施しました。クロス集計のすべての結果は、単純集計の結果と併せて村のホームページ等で公開し、村民の皆様へ報告する予定としています。

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	問19	備考
	年齢	居住地	居住年数	職業	家族構成	現計画への満足度・重要度	土地利用の問題と課題	観光振興に必要な基盤整備	観光産業を主体とした取組	脱炭素社会への行政の取組	社会基盤整備の内、力を入れる項目	景観への制限の必要性	景観を守り育むことの期待される効果	景観を守り育むための行政の取組	景観を守り育むことによる弊害	景観を守り育むための実践	景観を守り育むことによる弊害	自由記述		
問1	年齢					●	●	●												
問2	居住地						●	●			●									居住地を大きく「神城」「北城」の2ブロックに分け認識の違いを確認する。
問3	居住年数						●	●			●	●	●							居住年数について「白馬村に生まれた人(選択肢1、2)」と「白馬村以外で生まれた人(選択肢3)」に分け認識の違いを確認する。
問4	職業																			
問5	家族構成																			
問6							●			●										①-2と問9により、「やや不満」「不満」と回答した人は、どのようなことを問題や課題としているのか確認する。 ①-3と問12により、「重要」「やや重要」と回答した人が、行政の取組として具体的に何を求めているのか確認する。
問7	現計画への満足度・重要度										●									②-13と問13「重要」「やや重要」と回答した人は、具体的にどのような「身近な生活環境施設」の整備を望んでいるのか確認する。 ②-14と問13「重要」「やや重要」と回答した人は、具体的にどのような「農山村集落地の生活環境」の整備を望んでいるのか確認する。
問8								●												①-22と問10により、「重要」「やや重要」と回答した人は、どのような「観光関連の社会基盤整備」が必要と考えているのか確認する。 ②-25と問16により、「重要」「やや重要」と回答した人が、具体的にどのような行政の取組を求めているのか確認する。 ②-25と問17により、景観形成のための指導基準の運用が必要と考えつつも、「どのような弊害を危惧」しているのかを確認する。

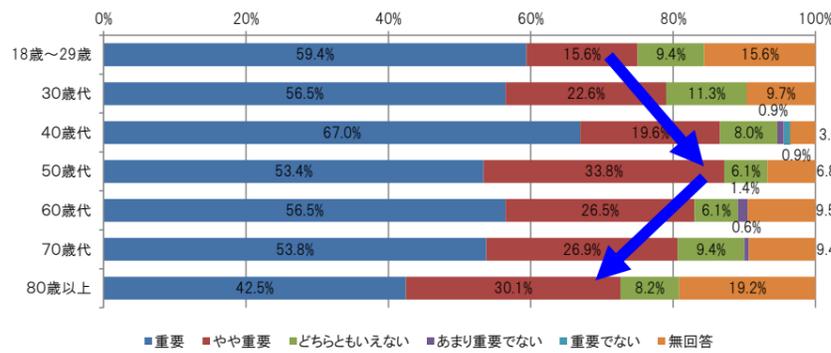
②問1年齢 × 問3白馬村での居住年数



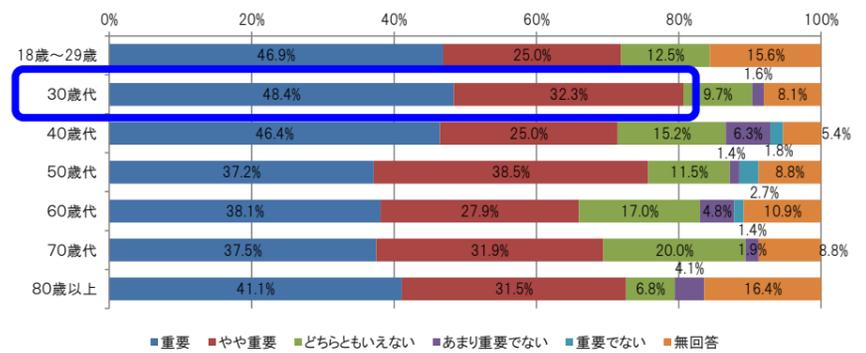
高齢になるほど、白馬村で生まれた人が多くなり、若い人ほど白馬村以外で生まれた人が多くなっている。特に **30歳代は回答者の88.9%が白馬村以外で生まれたと回答している。**

③問1年齢 × 問6豊かな自然環境を守り育てるまちづくり

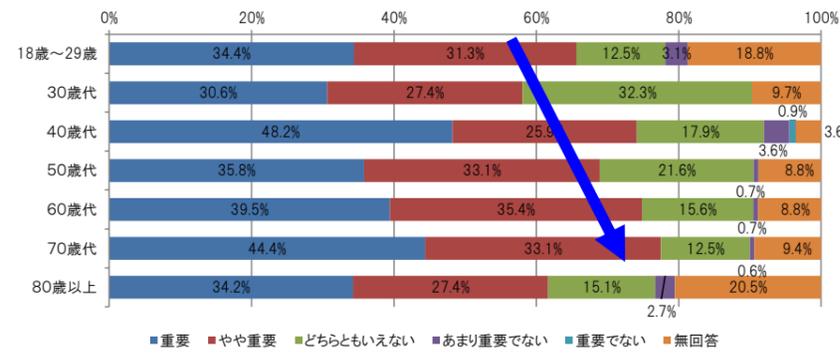
①豊かな自然を保護する「1優れた自然環境の保護と啓発」(重要度)



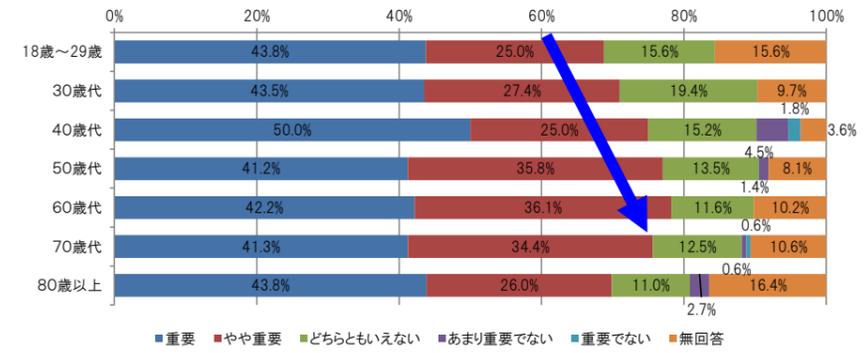
②水と緑と雪の景観をいなしまちづくり「2緑豊かな公園等の拠点の整備」(重要度)



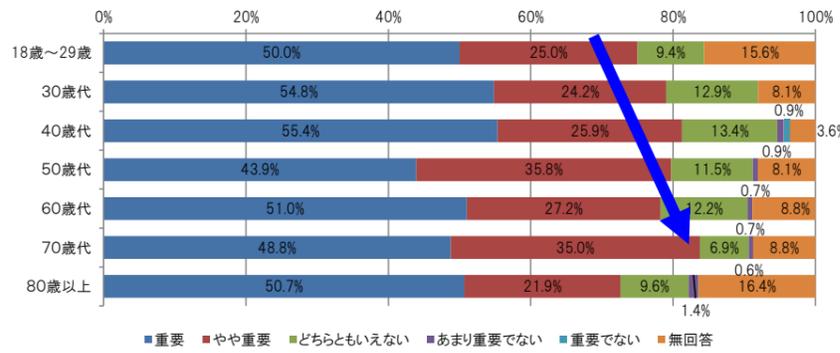
③自然環境と共生した環境負荷のないまちづくり「5白馬村環境基本条例等の遵守」(重要度)



③自然環境と共生した環境負荷のないまちづくり「6身近な自然との共生と緑化の推進」(重要度)



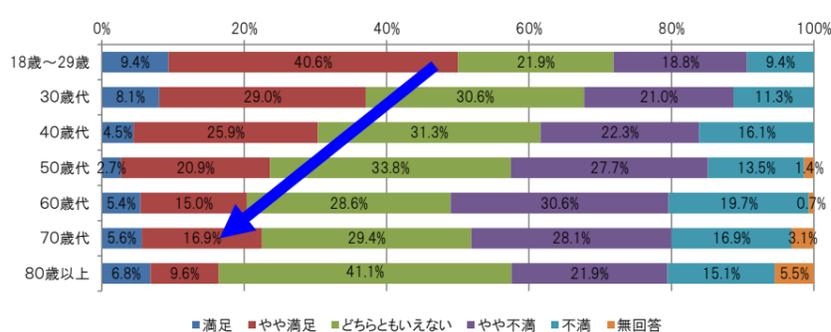
③自然環境と共生した環境負荷のないまちづくり「7自然環境への付加の軽減」(重要度)



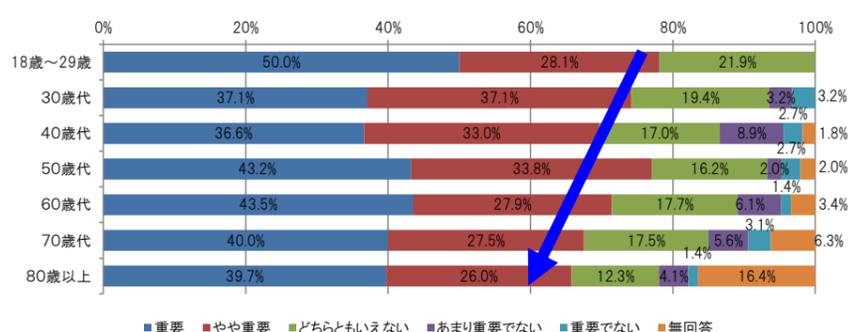
- 多くの設問において「40歳代」「50歳代」「60歳代」の「やや不満」「不満」との回答が多く、「やや重要」「重要」との回答も多くみられる。
- 「緑豊かな公園等の拠点の整備」については、「30歳代」の「重要」「やや重要」との回答も多くみられる。これは、**子育て世代が「公園の整備」を望んでいること**の表れと推察できる。
- 「優れた自然環境の保護と啓発」「白馬村環境基本条例等の遵守」「身近な自然との共生と緑化推進」「自然環境への付加の軽減」等について、高齢になるほど、「重要」「やや重要」との回答が多くなり、**居住期間の長い回答者が多い高齢者ほど、白馬村の自然環境等を貴重であり、守るべき対象として考えていることがわかる。**

④問1年齢 × 問7安心して暮らせるまちづくりまちづくり

①地域の活力を生み出すまちづくり「8機能的な道路網の構築」(満足度)



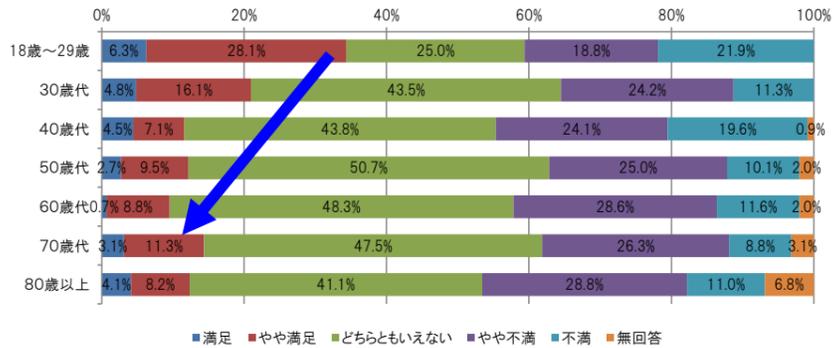
①地域の活力を生み出すまちづくり「8機能的な道路網の構築」(重要度)



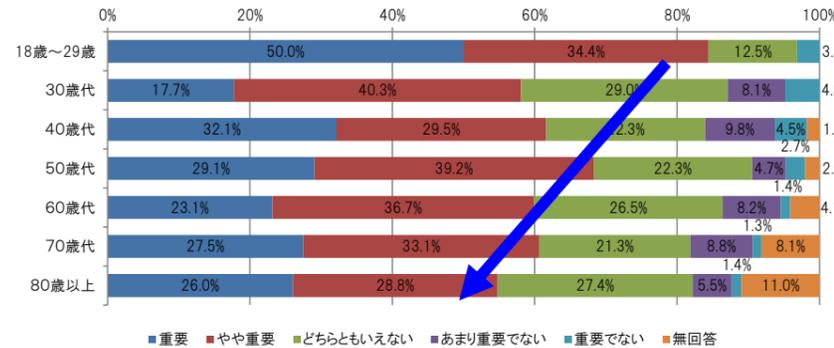
アンケート調査結果（クロス集計）概要 2

④問 1 年齢 × 問 7 安心して暮らせるまちづくりまちづくり（前ページ続き）

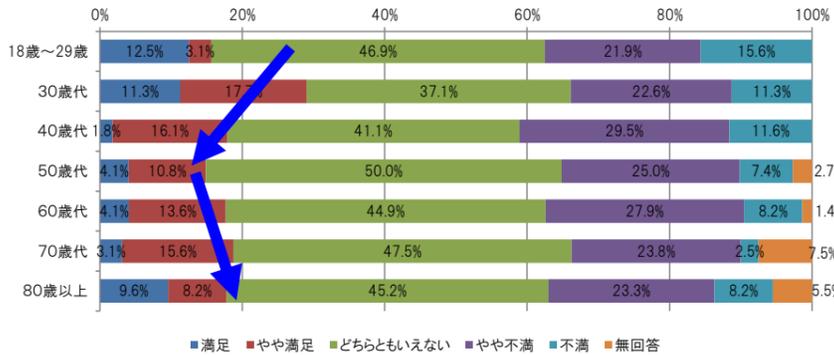
①地域の活力を生み出すまちづくり「9主要拠点の都市機能強化と連携」（満足度）



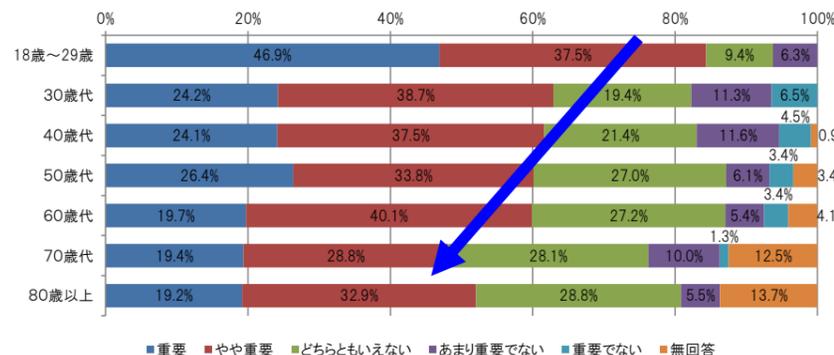
①地域の活力を生み出すまちづくり「9主要拠点の都市機能強化と連携」（重要度）



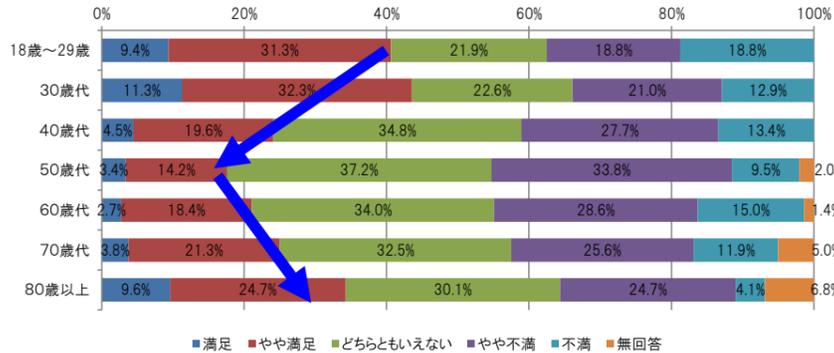
①地域の活力を生み出すまちづくり「10商業サービス施設の機能充実」（満足度）



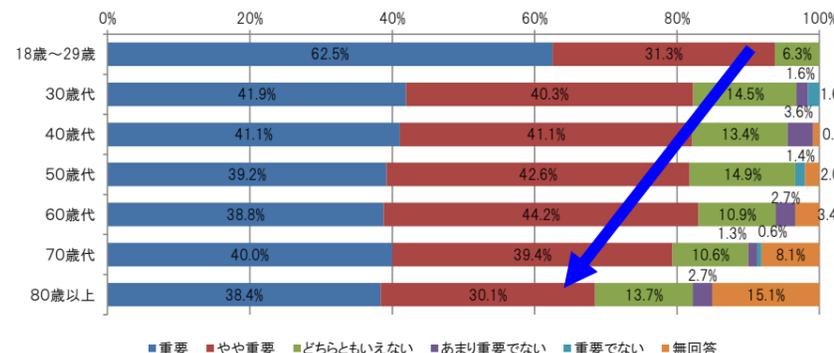
①地域の活力を生み出すまちづくり「10商業サービス施設の機能充実」（重要度）



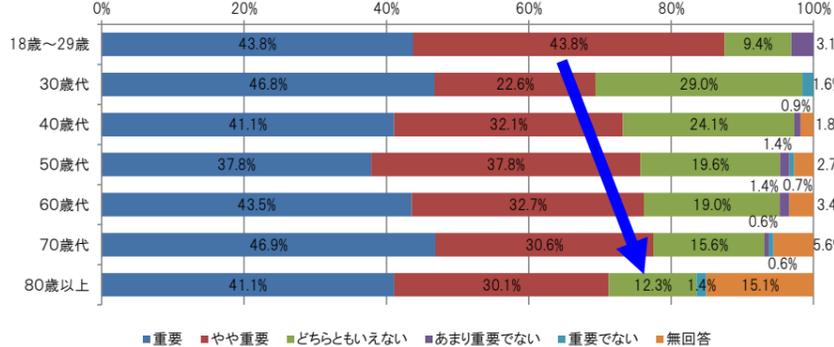
②快適な居住地を育成するまちづくり「13身近な生活環境施設の充実」（満足度）



②快適な居住地を育成するまちづくり「13身近な生活環境施設の充実」（重要度）

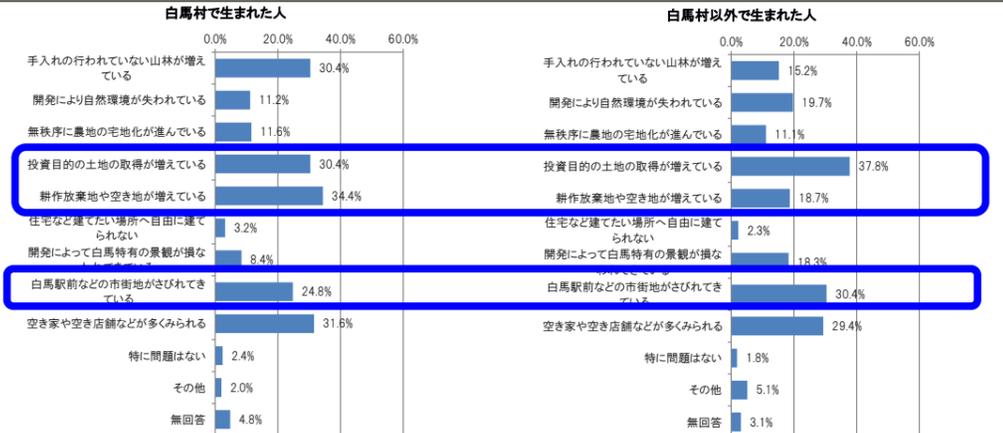


③災害や雪に強く安全安心なまちづくり「17治水対策等の推進」（重要度）



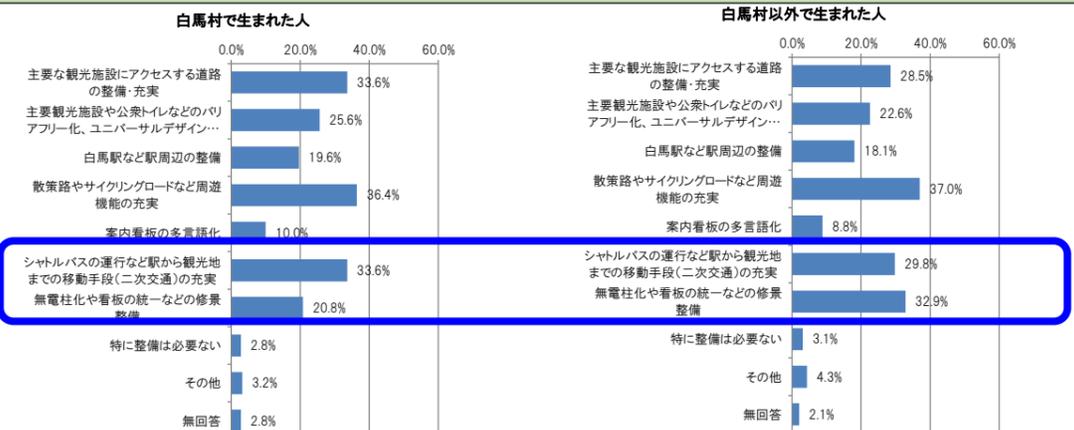
「機能的な道路網の構築」「主要拠点の都市機能強化と連携」については、年齢が若くなるほど「満足」「やや満足」との回答が多くなる。一方、「重要」「やや重要」との回答も年齢が若いほど多くなる。また、「商業サービス施設の機能充実」「身近な生活環境の充実」については、満足度は50歳代が最も低く、「重要」「やや重要」との回答は年齢が若くなるほど多くなる傾向がある。これらのことから、若者は日々の生活の利便の更なる向上を望んでいることがわかる。「治山治水対策等の推進」については、「重要」「やや重要」との回答は年齢が上がるほど高くなる傾向にある。これは、平成7年7月の姫川災害の当時20歳代以上で災害を経験した年齢が該当するとともに、40歳代以下は、白馬村以外で生まれた人が多いことが影響していると推察される。

⑤問 3 居住年数 × 問 9 白馬村内の土地利用について、問題や課題と思われること



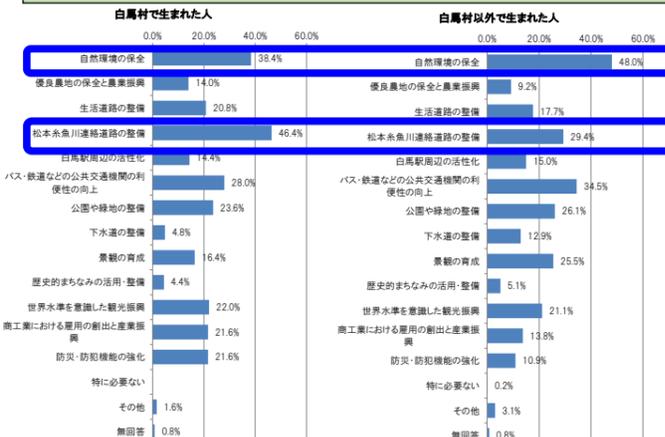
土地利用について、「白馬村で生まれた人」は「耕作放棄地や空き地が増えている」「空き家や空き店舗などが多くみられる」ことを問題や課題としているのに対し、「白馬村以外で生まれた人」は「投資目的の土地取得が増えている」「白馬駅前などの市街地がさびれている」ことが問題や課題として回答している。

⑥問 3 居住年数 × 問 10 白馬村内の観光振興に必要な公共的基盤整備として必要なこと



公共的な基盤整備については、「シャトルバスの運行など駅から観光地までの移動手段(二次交通)の充実」については、「白馬村で生まれた人」の意識が強く、「無電柱化や看板の統一などの修景整備」については「白馬村以外で生まれた人」の意識が高い。

⑦問 3 居住年数 × 問 13 土地利用の誘導や道路・公園などの公共施設の整備など社会基盤整備のうち、行政に力を入れてほしいことは



社会基盤整備について、「白馬村で生まれた人」は「自然環境の保全」よりも「松本糸魚川道路の整備」を選ぶ回答者が多く、広域交通の整備を望んでいる。一方、「白馬村以外で生まれた人」は、「自然環境の保全」を最優先とし、「公共交通の利便性の向上」を望んでいることがわかる。そのうえで、「松本糸魚川道路の整備」の順に選ばれている。